

平成14年度市政執行方針



いる登別保育所の改築について、同様の富浦保育所と登別温泉バイパス工事で移転を余儀なくされる登別温泉保育所と統合することとし、平成17年度開設に向けて基本設計に着手いたします。新設する保育所では、現在行っていないゼロ歳児から2歳児までの低年齢保育や延長保育・一時保育の実施、さらに子育て支援センター機能を有する施設として整備を図るとともに、登別地区における保育所と幼稚園の連携に向けた**モデル事業**について検討を進めます。

◎**高齢者福祉**についてはありますが、本市における高齢化率は年々上昇の傾向にあり、65歳以上の人口は、平成14年1月末現在で20・8割となりました。



こうした状況は、今後もさらに続くことが予想されますので、現状の福祉施策全般を再点検するとともに、平成12年度から平成16年度までを計画期間とする「**高齢者保健福祉計画**」と「**介護保険事業計画**」について、広く市民

の意見を求めながら見直しを行い、新たな5カ年計画を策定してまいります。◎また、介護保険制度の安定的な運用を図るとともに、地域の介護サービス情報を提供するため「**介護サービスマップ**」を作成いたします。



▲昨年、福祉マップを作成したときの市民会議の様子

◎「**ケアハウス**」については、民間事業者により平成15年度開設に向けた取り組みが進められておりますので、これを積極的に支援してまいります。

◎私たちが生きがいをもって快適に暮らしていくには、まず健康であることが第一であります。

このため、乳幼児から高齢者まで全世代にわたる健康づくり施策を引き続き推進するとともに、新たに、各種の健康診断結果の情報を一元管理する「**健康管理システム**」の導入を図り、より一層きめ細かな保健指導活動に努めてまいります。

◎**国立登別病院**は、本年6月1日をもって廃止されることになりました。諸般の事情から、やむを得ないものと受け止めておりますが、廃止にあたって

は、在院患者の意向の尊重と、職員の雇用の場の確保について、強く要請しております。さらに、跡地利用については、当面、温泉地域の公共駐車場として、また、その一部について隣接する登別厚生年金病院の機能充実のため利用できるよう国に要請しております。

主要施策④
環境にやさしいまちづくり

◎**自然と共生するまちの実現**には、日常生活や事業活動において、環境負荷の少ないライフスタイルや社会経済システムを再構築していく必要があります。

そのためには、市民や事業者、行政がそれぞれの役割分担のもとで、環境保全に配慮した自律的行動に取り組んでいかなければなりません。

現在、環境の保全などに関する中長期的な目標や基本的な施策の方向を定める「**環境基本計画**」を市民のみならず共に策定中であります。



▲クリンクルセンター

策定後は、本計画に基づき良好な環境を次世代へ引き継いでいくための施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

クリンクルセンターと廃棄物管理型最終処分場の始動から2年を経過し、ごみの減量とリサイクルに大きな成果をあげています。

しかし、廃棄物処理を取り巻く環境は著しく変化しておりますので、新たな方策の検討や実施に向け「**廃棄物処理基本計画**」を改定し、循環型社会の形成に向けて実効ある取り組みを進めてまいります。

また、平成11年度に用途廃止した旧清掃工場について、適正な解体処理に向け準備を進めるとともに、千歳最終処分場の閉鎖工事に着手いたします。

◎**尿処理手数料**については、平成9年の改定以来、これまで据え置いてまいりました。しかし、下水道の普及に伴う収集量の減少により、収集運搬コストが毎年上昇しています。今後さらに収集量が減少する見込みの下で、尿処理を円滑に行うため、手数料について本年7月より引き上げすることといたしました。

市民のみなさんご理解をお願い申し上げます。

◎**自然とのふれあい**は、私たちにうるおいとやすらぎを与えてくれます。都市化の進展とそれに伴う自然の減少や余暇の過ごし方の多様化などにより、自然とのふれあいの場を確保することが強く求められています。

ネイチャーセンターが4月にオープ